

衆議院予算委員会ニュース

平成 20.2.7 第 169 回国会第 4 号

2月7日、第4回の委員会が開かれました。

- 1 平成 20 年度一般会計予算
平成 20 年度特別会計予算
平成 20 年度政府関係機関予算
- ・福田内閣総理大臣、増田総務大臣、鳩山法務大臣、高村外務大臣、額賀財務大臣、渡海文部科学大臣、舛添厚生労働大臣、若林農林水産大臣、甘利経済産業大臣、冬柴国土交通大臣、鴨下環境大臣、岸田国務大臣（国民生活担当大臣）、大田国務大臣（経済財政政策担当大臣）及び参考人に質疑を行いました。
- （参考人）日本銀行総裁 福井俊彦君
独立行政法人都市再生機構理事長 小野邦久君

（質疑者及び主な質疑内容）

谷垣禎一君（自民）

- ・中国産冷凍ギョーザによる中毒事件への対応について、福田内閣総理大臣はどう考えているか。
- ・非正規雇用者数の増加は消費支出を押し下げる要因となるが対策はあるのか。
- ・歳出・歳入の一体改革へ、どのように取り組んでいくのか。
- ・これからの道路整備の方針について冬柴国土交通大臣はどう考えているか。
- ・サミット議長国として、さまざまな国際問題に対し福田内閣総理大臣はどのようにリーダーシップを発揮していくのか。

山口俊一君（自民）

- ・平成 20 年度予算にこめられた地方再生・地域活性化に向けた福田内閣総理大臣の思いはどのようなものか。
- ・道路特定財源の暫定税率の廃止が地方にもたらす影響について増田総務大臣はどう考えるか。
- ・地域間の財政力格差是正のため、偏在性の少ない地方消費税の充実を図るなど抜本的な改革が必要だと思うが、増田総務大臣はどう考えるか。
- ・郵便局のネットワークサービスの劣化により、地域を支えるという郵便局の役割が低下してきている現状に対して増田総務大臣はどう考えるか。

伊藤達也君（自民）

- ・岐路に立つ日本経済を踏まえ、経済・財政一体改革の姿を再提示し、経済成長と財政再建の好循環を作り出していくことが必要だと思うが、福田内閣総理大臣はどう考

えるか。

- ・原油を中心としたコスト上昇をもたらす消費減退及び企業収益の圧迫のリスクについて福井日本銀行総裁はどのように認識しているのか、また、どのような金融政策で対応しようとしているのか。
- ・対日投資促進の阻害要因ともなる空港外資規制について福田内閣総理大臣はどう考えるか。
- ・イノベーションにとって第 1 次・2 次・3 次産業のつながり等様々な産業、分野のつながりが大事であると考え、福田内閣総理大臣はどう認識しているか。
- ・地方公務員（現業）と民間の給与の格差是正等歳出改革と 21 世紀型行財政システムの必要性について、増田総務大臣はどう考えるか。

伊藤公介君（自民）

- ・福田内閣になって日中関係が改善したと考えるが、日中ガス田開発や胡錦濤国家主席の訪日予定等、日中関係の現状について高村外務大臣はどう考えるか。
- ・福田内閣総理大臣は、社会保障の給付と負担の関係について理想の姿をどのように考えるか。
- ・障害者自立支援法において、障害者の利用者負担及び資産要件の見直しの必要性について舛添厚生労働大臣はどう考えるか。
- ・多摩ニュータウン等を今後も守り、住民にとってよりよい環境づくりをしていくことの必要性についてどう考えるか。

斉藤鉄夫君（公明）

- ・限界集落の現状は、これからの我が国の人口減少社会のありようを示しているように考えるが、限界集落対策を

どのような方向で進めていくのか。

- ・特定財源だから、無駄な道路をつくるとの議論に対して福田内閣総理大臣はどう考えるか。
- ・道路の中期計画の事業費について、59兆円は上限であり、今後の見直しの過程で減額もありうるという理解が正しいか、確認したい。
- ・ダボス会議において、福田内閣総理大臣が、国別排出総量目標を掲げて温室効果ガスの削減に取り組む旨の発言をした理由はなにか。
- ・日本としての排出量削減についての数値目標を早期に示すべきではないか。

赤羽一嘉君(公明)

- ・余った道路特定財源は、高速道路の通行料の値下げに活用すべきではないか。
- ・救急医療体制整備に関する救急中央情報センターの整備、指導医師の常駐及びメディカルクラークの配置の要望に対し、どのように考えるか。
- ・飛び込み分娩を防ぐためにも、妊婦に対する無料検診を5回以上とするよう地方自治体を指導する必要があるのではないか。
- ・子供と向き合う時間を拡充するため、外部人材を活用

するというが、これらの人たちは教員免許を取得していることが必要か。

- ・学校給食における米飯の導入をさらに進める必要があるのではないか。

岡田克也君(民主)

- ・国土交通省と道路特定財源の維持を求める署名を主導した道路整備促進期成同盟会全国協議会との間に何か特別な関係はないか。
- ・20年前に閣議決定された四全総で定められた高規格幹線道路の計画が、見直されていないことに対する福田内閣総理大臣の認識はどのようなものか。
- ・なぜ、道路だけ特定財源が維持されなければならないのか。
- ・今後10年間の道路整備の事業量59兆円のうち、24兆円を「国際競争力の確保」に活用とされているが、納税者の理解が得られると考えているのか。
- ・福田内閣総理大臣は、ダボス会議において、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の報告を「警告」と発言したが、今後の議論の前提とするべきではないか。